


# カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CI05-15008	1.7 製品写真 
1.2	製品名称（日本語）	日立IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUA	
	製品名称（英語）	Hitachi IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUA	
1.3	製品型式	MX-01 CCUA	
1.4	製品の主要仕様・諸元	回線容量 最大総ポート数48 (回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。) ①局線 ・アナログ回線 最大48回線 ・INS64 最大24回線 ・INS1500 最大2回線 ・ひかり電話直収 最大4回線 ②内線 ・多機能電話機 最大48回線 ・一般電話機 最大48回線 ・PHS基地局 最大16回線	
1.5	CFP算定単位	販売単位（台あたり）	
1.6	公開日	2015年7月10日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 日立情報通信エンジニアリング
	事業者名（英語）	Hitachi Information & Telecommunication Engineering, Ltd.
2.2	電話番号	050-3163-5812

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容						
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	3.1 t-CO <sub>2</sub> e <small>(端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)</small>				
3.2	内訳（ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等）					
	原材料調達段階	1.0 t-CO <sub>2</sub> e				
	生産段階	0.043 t-CO <sub>2</sub> e				
	流通段階	0.015 t-CO <sub>2</sub> e				
	使用・維持管理段階	2.0 t-CO <sub>2</sub> e				
	廃棄・リサイクル段階	0.011 t-CO <sub>2</sub> e				
3.3	数値表示、追加情報の内容					
	数値表示	<table border="1"> <thead> <tr> <th>&lt;記載内容&gt;</th> <th>&lt;数値表示の単位&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>kg-CO<sub>2</sub>e 1ポート・年あたり（機能あたり）のCO<sub>2</sub>排出量 <small>(端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)</small></td> </tr> </tbody> </table>	<記載内容>	<数値表示の単位>	13	kg-CO <sub>2</sub> e 1ポート・年あたり（機能あたり）のCO <sub>2</sub> 排出量 <small>(端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)</small>
	<記載内容>	<数値表示の単位>				
13	kg-CO <sub>2</sub> e 1ポート・年あたり（機能あたり）のCO <sub>2</sub> 排出量 <small>(端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)</small>					
<p>・製品名 日立IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUA ・型式 MX-01 CCUA ・CO<sub>2</sub>排出量 -製品あたり 3.1 t-CO<sub>2</sub>e -1ポート・1年あたり<sup>※1</sup> 13.0 kg-CO<sub>2</sub>e/ポート・年</p> <p>・主な製品仕様 -接続ポート数 最大48(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。) ①局線 ・アナログ回線 最大48回線 ・INS64 最大24回線 ・INS1500 最大2回線 ・ひかり電話直収 最大4回線 ②内線 ・多機能電話機 最大48回線 ・一般電話機 最大48回線 ・PHS基地局 最大16回線</p> <p>-想定使用年数<sup>※2</sup> 7年</p> <p>測定条件：使用時電力は、エコリーフ「PBXシステム」製品分類別基準（PCR番号：BS-01）に基づき測定。但し、冗長回路はなし、接続ポート数34ポート（アナログ電話機10台、多機能電話機10台、PHS5台、外線9回線）</p> <p>※1 この製品の販売単位のCFP値は、CO<sub>2</sub>排出量(1ポート・1年あたり)に接続ポート数[ポート]、及び想定使用年数[年]を乗算されます。 ※2 想定使用年数は、製品の保守期間を計算しております。</p>						
3.4	備考	-				

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	使用・維持管理段階における温室効果ガス排出量が約64%と最も多いため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用段階使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	IT機器	5.2	認定CFP-PCR番号	PA-CI-05
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して利用しつつ、利用可能データ（国内）ver.1.04で補完した			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2	システム認証番号	-
6.3	検証番号	CV-CI05-15008	6.4	検証合格日	2015月6月30日

7. プログラム情報					
7.1	プログラム名	カーボンフットプリント コミュニケーションプログラム	7.2	プログラムウェブサイト	<a href="http://www.cfp-japan.jp">http://www.cfp-japan.jp</a>
7.3	プログラム運営者	一般社団法人産業環境管理協会	7.4	プログラム運営者住所	東京都千代田区鍛冶町2-2-1

8	備考	-
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。  
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>